



第5回 自殺報道のあり方を考える勉強会 ～地方メディアが変える、地域の自殺対策～

2023年7月15日（土）10時00分～12時00分

時間	内容	登壇者（敬称略）
9:45	Zoom開場	
10:00	開会の挨拶	清水 康之 (JSCP代表理事)
10:10	JSCPからの報告（有名歌舞伎俳優の報道に関する影響について）	JSCP
10:20	【事例報告】秋田魁新報社の自殺対策キャンペーン報道について	吉田 新一 (秋田魁新報社)
10:50	地方メディアの自殺報道 現場の声を紹介	JSCP
11:05	休憩	
11:10	【パネルディスカッション】 テーマ「地方メディアが変える、地域の自殺対策」	吉田新一（秋田魁新報社） 佐藤久男（蜘蛛の糸） 清水康之（JSCP）
11:35	質疑応答	
11:55	閉会の挨拶	清水 康之
12:00	閉会、アンケートのご記入	

伝達事項

- 【事前協力依頼】入室前にご自身のZoomの表示名を「所属先・お名前」にあらかじめご設定ください。
- 本勉強会の撮影・録音、録画は固くお断りいたします（当センターの記録用に録画をいたします。ご了承ください）。
- 本勉強会の取材・記事化はお受けしていません。あらかじめご了承ください。
- 勉強会中のご質問は、講演中に「チャット」欄に貼り付ける質疑応答用のURLより、随時ご記入ください（講演中でも随時、受け付けております）。
- 本勉強会の講演資料は、JSCP発表分の一部のみ、勉強会終了後にお送りします。



<登壇者 プロフィール>

■吉田 新一 氏（秋田魁新報社 営業局次長）

1967年、秋田県生まれ。1990年、秋田魁新報社入社。社会部で警察取材などに携わり、2007年から自殺対策キャンペーン「支え合う『いのち』」取材班に参加。編集委員、社会地域報道部長、デジタルセンター長などを経て22年から現職。10年、多重債務問題取材班代表として貧困ジャーナリズム賞受賞。22年～23年3月、第2期秋田県自殺対策計画の策定委員を務める。

■佐藤 久男 氏（NPO法人「あきた自殺対策センター 蜘蛛の糸」理事長）

1943年、秋田県生まれ。高校卒業後、秋田県職員などを経て1977年に不動産会社を設立。2000年に倒産し、うつ病を発症。回復後の02年、友人経営者の自殺をきっかけに、中小企業経営者の自殺防止相談を受ける「蜘蛛の糸」を設立。自殺対策の民学官連携「秋田モデル」の推進役を担ってきた。20年からJSCP理事も務める。

■清水 康之（JSCP代表理事／NPO法人「ライフリンク」代表）

1972年、東京生まれ。1997年、報道ディレクターとしてNHK入局。2001年、「クローズアップ現代」での自死遺児の取材を契機に自殺対策の取材を開始。04年、NHKを退局し「ライフリンク」を設立。06年には「自殺対策の法制化を求める3万人署名」を展開し、自殺対策基本法の制定に貢献。19年にJSCPを設立。